令和３年度　児童発達支援自己評価（職員）　　まとめ

① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか

② 職員の配置数は適切であるか

・職員が休みの場合でも、各クラスの状況や人数に応じて配置を変え、対応出来ている。
・毎日全体を見て配置されている。
・職員の休みが重なり、人数が少ない時には連携をして対応していると思う。
・クラス担任以外の職員も連携して対応している。
・その日の人数（子ども・職員）に合わせた配置がなされている。
・もう少し人員があればと思う。

③ 生活空間は、本人に分かりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか

・子ども達に合わせて各クラス配置を考えて環境づくりを行うようにしている。
・発語が難しい子に対してはドアの所にトイレカードを貼り付けており、伝えやすいような視覚的な配慮をしている。
・手洗いから消毒、教室内への導線が視覚的にも分かりやすい。
・各クラスの個人の棚や靴箱にマークがついているので分かりやすい。
・クラスごとに工夫されている。
・バリアフリー化としてスロープがあり、段差が少ない作りになっている。

④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもの活動に合わせた空間となっているか

・毎日掃除や消毒（登園前後）を行っている。
・コロナ禍ではあるが、消毒や換気をしっかりと行い、清潔を保てているかと思う。
・消毒を心がけ、清潔にしている。
・窓や玩具などの消毒を毎日行っている。
・各クラスに空気清浄機を導入。
・換気も細めに行っており、外から室内に入る時は細めな消毒を行っている。

⑤　業務改善を進めるためのＰＤＣＡサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか

・毎日の活動（設定）においては計画を行い、反省を記入するなどして振り返り、改善を行っている。

⑥　保護者向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意見等を把握し、業務改善につなげているか

・毎年評価表（保護者・職員）を集計し、職員間で情報共有する場（勉強会）を設け、どのように改善していくか検討している。

・集計後、資料に目を通すことが少ない為、目を通すようにしていく。

⑦　事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか

・毎年必ず、評価の結果はホームページに公開されている。

・結果をホームページに掲載し、保護者の方々が見る事が出来るようにしている。

⑧　第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか

・第三者による外部評価が行われているのかは分からない。

・第三者による外部評価は行っていない。

⑨　職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか

・コロナ禍ではあるが、オンライン等を活用しながら研修の参加が出来ている。

・ZOOM での研修に参加させて頂く機会もあり、学ぶことが多く日頃の支援等へ活かせているかと思う。

・月１回勉強会を実施している。

・研修は定期的に行っている。

・定期的に勉強会を行っており、職員間での情報共有を行っている。

⑩　アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか

・サービス等利用計画に沿って個別支援計画等を作成している。

・保護者との面談の中でニーズの確認が出来ているかと思う。

⑪　子どもの適応行動を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか

・田中ビネー知能検査を実施している。

⑫　児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか

・サービス等利用計画を基にその子どもに対してどのような支援が必要か考え、個別支援計画を作成している。

⑬　児童発達支援に沿った支援が行われているか

・一人ひとりに合った支援を職員で統一して行っている。
・子どもの様子を見ながら個別支援計画に沿った支援を行っている。
・各クラス個人に合わせた共通の支援が行われている。
・支援計画を作成し、一人ひとりに合った支援を職員同士連携しながら行っている。
・適切に行い、共有できていると思う。

⑭　活動の立案をチームで行っているか

・毎週、クラスの担任同士で分担し、作成している。
・クラス担任で話し合い、作成を行っている。
・担任同士相談しながら活動内容を決めている。

⑮　活動が固定化しないよう工夫しているか

・自由遊びの時の玩具が固定しまいがちになっている。
・週案をいつでも見返せるようにし、改善や良かった点を記入している。
・インターネットや保育の本を活用しながら、子ども達が楽しそうな活動を取り入れている。
・様々な教材、季節に合わせた教材等を取り入れている。
・様々な活動を取り入れることができるよう工夫をしている。

・それぞれのテーマについて活動を行っている。
・なるべく固定化しないよう他クラスの活動も参考にしながら検討している。
・教材は子ども達が楽しめるようなものを工夫し、準備している。

2

⑯　子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか

・子どもの状況により集団活動を通して社会性やルール理解等を養えるよう個別支援計画に取り入れている。
・一人ひとりその子に応じて個別活動、集団活動を組み合わせ、支援計画を作成している。
・食育の一つでおにぎり作りやアイス作り、フルーチェなどを子ども達が作っている。

⑰　支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか

・申し送りを職員間で行っている。
・支援開始前に打ち合わせが難しい時は、職員が揃っているときに支援の内容等の確認をするように心がけている。
・クラス担任で相談するよう心がけている。
・事前に確認事項や引き継ぎがあれば、その都度行っている。
・朝礼での伝達や職員同士で人数や子どもの様子等もコミュニケーションをとり、伝達している。
・担任同士でその日の出席状況、活動内容等の打ち合わせを行っている。
・必ず打ち合わせが出来ているわけではないが、気づいた点や改善点があれば互いに伝えるようにしている。
・朝礼の申し送りを通して支援内容の確認等行えている。
・毎朝の申し送りで確認、報告をしている。

⑱　支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日の行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか

・必ずではないが、気になった点については職員間で話をして検討している。どう対応

するか統一した支援ができるよう気づいた時に話をしている。
・話せる時とそうではない時がある為、意識して話をし、改善に繋げたいと思う。
・降園後、勤務時間の関係上で担任が揃わない時もあるが、次の日の登園前には情報共有を心がけている。
・日誌などに気になることがあった場合は記入をしている。
・その日に気になった子どものことや支援内容について職員間で話し、共有している。
・職員間のコミュニケーションは出来ていて、共有出来ている。
・降園後に気が付いたこと等報告している。
・気になることはその日の内に担任間で話している。

⑲ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか
・毎日連絡帳、日誌に記入。
・保護者からの連絡、支援以外の気づいたこと等は備考欄に記入するよう心掛けている。
・日誌などを記入することで、いつでも見返せるようにしている。
・支援の記録は毎日日誌に記入。

⑳ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか
・モニタリングを行い、見直しが必要かどうか職員間でも話をし、検討している。
・定期の見直し以前でも必要な場合には変更や検討を行っている。
・モニタリングを定期的に行っている。

㉑ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか
・園長先生や担任が参加している。
・担任は子どもの様子や状況を保護者に説明、聞き取りをしている。
・担任も一緒に参加し、情報共有している。
・園長先生や主担任が参加するようにしている。
・担任が必ず参画出来ている。

㉒ 母子保健や子ども・子育て支援などの関係者や関係機関と連携した支援を行っているか
・各市の子ども支援の部署と連絡を取り合うなど出来ているように思う。

㉓ （医療ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか

・園医等と協力しながら支援を行っている。

・看護師を主に行っている。

㉔ （医療ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか

・保護者との連絡を行っている。

・看護師を主にして行っている。

㉕ 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼児部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか

・学校見学、保育所との交流の実施。

・コロナウイルスが流行しており、行っていない。

・それぞれの機関と情報交換等は行っている。

・自分からもっと情報収集を行うようにしていく。

・例年であれば学校見学や保育所との交流を実施しているが、コロナ禍ということもあり、実施出来ていないのが現状である。

㉖ 移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか

・就学前に就学児についての情報や支援方法を伝えることもある。

・自分からもっと情報収集を行うようにしていく。

・引き継ぎシートを使用するなどし、情報共有を行っている。

㉗ 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか

・他事業所と連絡を取り合う機会はないように思う。

・他事業所との連携は行うようにしている。

㉘　保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか

・現在はコロナウイルス感染拡大の面から交流は控えているように思う（三池小学校交流等）
・同じ法人内の放課後デイサービスとの交流を行っている。
・コロナウイルスで直接的な機会はないが違う形での交流を行っている。
・現在は行われていない。
・コロナ禍ということもあるが、幼児さんとの交流はないように思う。
・以前は小学生との交流はあっていたが、コロナ禍のため交流は行えていない。
・コロナ禍の為、子ども同士の交流は現在行っていない。

㉙　（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか

・園長先生が参加されている。
・管理者が参加している。
・参加している。

㉚　日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか

・連絡帳でのやりとりをしている。
・連絡帳や電話連絡等でなるべく行うようにしている。
・連絡帳や対面を通し、日々の様子を伝え合っている。
・連絡帳や電話、バスでの送迎時、保護者とコミュニケーションをとり、子どもの様子などを伝えている。
・日々の連絡帳でのやりとり、電話や面談等で保護者との共通理解に努めている。

㉛　保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか

・ペアレントトレーニングを行っており、希望される保護者も多いと思う。
・毎年行われている。
・ペアレントトレーニング実施の案内を保護者に伝え、参加者を募っている。

㉜　運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか

・保護者からの不明な点等の問い合わせにはその都度対応している。
・契約書を通して説明されているかと思う。
・入園式の際等に行っている。
・入園式や契約書等で説明を行っている。

㉝　児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか

・面談を行っている。
・保護者からの同意を得た上で支援計画に基づき支援している。
・同意や保護者からのサインを頂いている。
・面談などでしっかりと保護者に説明を行い、同意を頂いている。
・個別支援計画を作成したときは保護者に説明をし、署名と押印を頂いている。分かりやすい言葉で伝えるよう説明するときは心がけている。

㉞　定期的に保護者からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言と支援を行っているか

・定期的ではないが、連絡帳に記入があった時、保護者からの相談があった時には助言等の対応をしている。
・連絡帳などのやりとりで行えている。
・連絡帳や電話連絡を通し、助言等出来るようにしている。
・保護者からの相談はすぐに対応できるように心がけている。
・保護者との面談を行っている為、そのような場で行っている。
・連絡帳を主として行っている。

㉟　父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか

・つぼみの会、保護者会がある。しかし、コロナ禍の為開催することは難しいかと思う。
・現在はコロナウイルス感染にて開催は出来ていないが、落ち着いた際には開催出来れ

ばと思う。
・活動の内容は聞くことがあるが、支援する機会はなく、もう少し詳しく聞いたりするべきだと思う。
・つぼみの会があるがコロナ禍の為、活動は行えていない。

㊱ 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか
・速やかに園長先生や主担任等に伝え、すぐに対応出来るようにしている。
・申し入れがあった場合、迅速に対応出来ている。
・相談等はすぐに園長先生に確認し、対応している。

㊲ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか
・園だよりなど、毎月保護者へ配布している。
・毎月園だよりを発行。また、詳しい内容は手紙でお知らせしている。
・行事のお知らせは園だよりと別に配布している。
・保護者、外部に定期的に発信している。
・年度初めに年間行事予定を保護者に配布している。

㊳ 個人情報の取扱いに十分注意しているか
・名前や個人に関する物は外部に持ち出さず、不要な物はシュレッダーにかけて処分している。
・個人情報は持ち出さず、慎重に扱っている。
・ファイルをクラス別にして保管している。
・個人情報に関する同意書を頂いている。また書類の取り扱いにも十分注意している。
・園外で園内のことを話さない。書類は園外へ持ち出さない。
・園でしっかり管理をしている。
・個人情報が記入されている書類はシュレッダーを使用している。

㊴ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか
・絵カードやジェスチャーなど言葉だけではない意思疎通が出来るようにしている。
・分かりやすい言葉を使用し説明等をしている。

・分かりやすい伝え方を工夫し努めている。
・連絡帳で伝えにくいこと等は直接電話連絡をしている。

㊵　事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか
・コロナ禍でどんど焼きや夕涼み会、餅つき等の行事が行えていない。
・コロナ禍の為行えていない。
・コロナ禍になってからは大きな行事を行えていないが、行事がある時は参加して頂いている。
・コロナウイルス感染予防のため、控えてある。

㊶　緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか
・委員会を設置し、話し合いや実際に起こった場合の訓練行っている。
・実施訓練を定期的に行っている。
・様々なマニュアルを策定している。訓練をした際は連絡帳等にも記入をし、知らせている。
・感染対策についてのお知らせ等は玄関等にも掲示している。
・緊急時防犯マニュアルに関しては保護者への周知が課題である。
・定期的に訓練や会議が行われている。
・マニュアルがあり、訓練も出来る限り行っている。
・避難訓練、不審者対応訓練等を行っている。土砂災害の避難表については、全職員が作成できるようにし、把握するべきだと思う。
・火災、地震、土砂災害の避難訓練を行っている。
・マニュアルがあり、発生を想定した訓練が行われている。実施後の反省会も行われている。
・マニュアル策定は出来ているが訓練を定期的に行っていく必要があるかと思う。特に災害発生時を想定した保護者を含む訓練の実施も今後は取り組んでいけたらと思う。

㊷　非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他の必要な訓練を行っているか
・毎月、避難訓練を行っている。また、災害時での子ども達のバスでの避難の為、人数などを記入する一覧表を作っている。
・バスに乗り込んで避難する訓練も行っている。
・毎月、火災や地震を想定しての避難訓練を行っている。
・避難訓練も火事や地震など様々な状況を想定して行えている。

㊸　事前に服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか

・年度初めに保護者に確認をしている。
・薬は園で預かり、保管している。
・保護者に確認し、担任が把握した上で職員に情報共有している。

㊹　食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか

・指示書に基づき、給食室と連携して対応している。朝の申し送りでもアレルギー対応食の有無を伝えて頂いている。
・食物アレルギーの指示書や診断書を提出して頂いている。
・指示書を基に保護者、給食室、担任で情報共有し、確認を行っている。
・給食室と連携し対応している。
・医師の指示書を基に栄養士、調理師で確認後、食事提供時に担任にも確認をしている。
・年度初め、入園時に医師の診断書の提出を受け、保護者、担任、給食室とで連携をとり、除去食の対応をしている。

㊺　ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか

・ヒヤリハットが起こったときは用紙に記入しているが、全職員が目を通しているのか不明な為、全職員で共有する必要がある。
・ヒヤリハットがあった場合はしっかり記入し、書類として残している。
・ヒヤリハットはまとめてファイルに綴じている。
・職員会等でも伝えるようにしている。
・作成はしているが、共有しているかは不十分である。
・担任しか知りえないこともあり、共有が不十分なこともある為、定期的にファイルを確認していきたい。
・作成はしたが共有は不十分である。また、起きないように改善を考えて実行している。
・ヒヤリハットを作成し、同じことを繰り返さないようにする。
・ファイルに綴じてみんなが見れるようにしている。

㊻　虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか

・虐待防止委員会の立ち上げをしている。委員会を中心とした勉強会や対応が必要になるかと思う。
・日々、職員は虐待等ないように常に心掛けて支援を行っている。
・虐待防止についての勉強会を行っている。

㊼　どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか

・同意書を作成している。

・身体拘束やバギー使用の際は必ず同意を得ている。

・バギー、チャイルドシート等使用の場合は、事前に保護者の同意を得た上で同意書を頂いている。

・座位保持椅子やチャイルドシート等は同意書を頂いた上で使用をしている。